

<白金標準、ネクスペリアや南ア自動車工場での賃金スト懸念・・・>



(出所：オアシス)

米中首脳会議でレアアースの輸出規制強化を 1 年間延期する事で合意し、その際、米国はオランダ半導体メーカーのネクスペリアに対して中国政府は、中国工場に対して半導体輸出停止を発表していたが、米国政府は中国政府が出荷再開を認める措置を取ると発表している。しかしプラチナ生産の 7 割を誇る南アフリカでは、全国鉱山労働組合（NUMSA）が自動車会社と賃金交渉を行い「合意に至らなかった」と発表し、今後フォード、BMW、メルセデス・ベンツ、トヨタ、VW などの自動車生産工場に 40 万人の組合員を持つ NUMSA は圧力を課すと見られストライキ懸念が高まりを見せて来ると思われる。

ただ英国の貴金属コンサルティング会社メタルズ・フォーカスは 2026 年のプラチナの平均価格を 1 オンス：1670 ドル（前年比 34%増）、スタンダードチャータード銀行は 3 ヶ月前に予想した 1 オンス：1227 ドルを 1550 ドルへ上方修正するなど、2026 年も供給不足が継続する可能性が高いと予想している。特に 19 日には WPIC 第 3 四半期 PGM 需給報告の発表が控えており、2026 年の初回の予測を発表する事から供給不足を指摘される様であれば、需給要因から買い戻しの動きが強まると思われ、底固めの週になると思える。

<テクニカル>

白金標準先物の週足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が下げ止まり、**シグナル** も下げている。また RCI では**短期**が上昇し、**長期**は切り上げている。特に日足が 6666 円から下値を切り上げており、上昇過程へ移行する可能性を高めていると思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,930,000 円(2025 年 11 月 4 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 102,960 円(2025 年 11 月 4 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>